

# サケ稚魚放流情報 No.1



平成 31 年 2 月 22 日  
 岩手県水産技術センター  
 漁業資源部  
 TEL: 0193-26-7915  
 FAX: 0193-26-7920

湾内の表面水温は平年並～3℃程度低めとなっており、山田湾と越喜来湾では5℃を下回っています。

動物プランクトン沈殿量は、大船渡湾を除いて平年よりも少ない傾向にあります。

今年は、降水量が少ないことによる用水不足のふ化場が多いため、例年以上に用水量に注意して飼育を行い、低水温で餌環境が悪い状況ですが、過密な稚魚を調整放流して下さい。

## 1 表面水温 (℃)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(2/18、19)	6.9	3.8	5.4	4.0	5.9
平年*	6.6	6.7	6.5	7.1	7.2
前年同期	7.3	7.8	8.5	8.7	7.5

各湾の表面水温は、平年並～3℃程度低め、前年並～5℃程度低めとなっており、山田湾と越喜来湾では5℃を下回っています。

## 2 動物プランクトン沈殿量 (ノルパックネット鉛直 20m 曳き、ml/m<sup>3</sup>)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(2/18、19)	0.12	0.15	0.13	0.21	0.65
平年*	0.24	0.21	0.23	0.33	0.47
前年同期	0.03	0.04	0.49	0.48	0.03

沈殿量が少ない時期ですが、平年と比べて大船渡湾を除いて少なく、前年同期と比べて唐丹湾、越喜湾を除いて多くなっています。

## 3 山田湾における水温・塩分・動物プランクトン連続モニタリング結果\*\*

- (1) 氷場漁場において、音響機器（プロファイラー）で連続観測を実施しています。
- (2) 平成 31 年 2 月 22 日現在、氷場漁場は水温 5.8℃、塩分 33.53 となっています（図 2）。
- (3) 動物プランクトン密度は、1mm 以下の小型のものを中心に、過去 5 年間と比べてきわめて低くなっています（図 3）。

## 4 その他

- (1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査によるものです。
- (2) いわて大漁ナビ (<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の定地水温情報・衛星画像や、当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

\*平年は過去 14～16 年間の同期の平均値。

\*\*平成 30 年度まで先端技術展開事業「天然資源への影響を軽減した持続的な漁業・養殖業生産システムの実用化・実証研究委託事業」、平成 31 年度は「さけ・ますふ化放流抜本対策事業」による研究成果（モデル海域：山田湾）

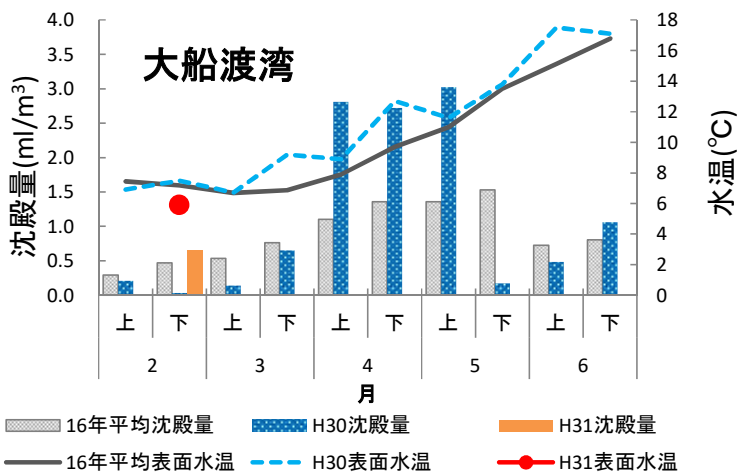
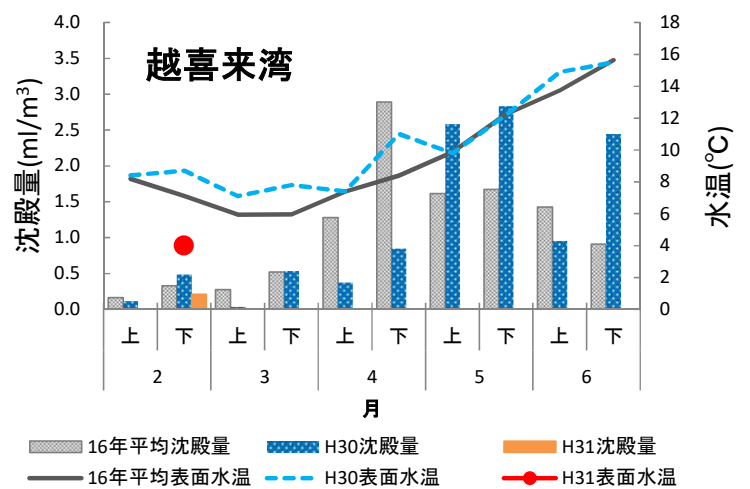
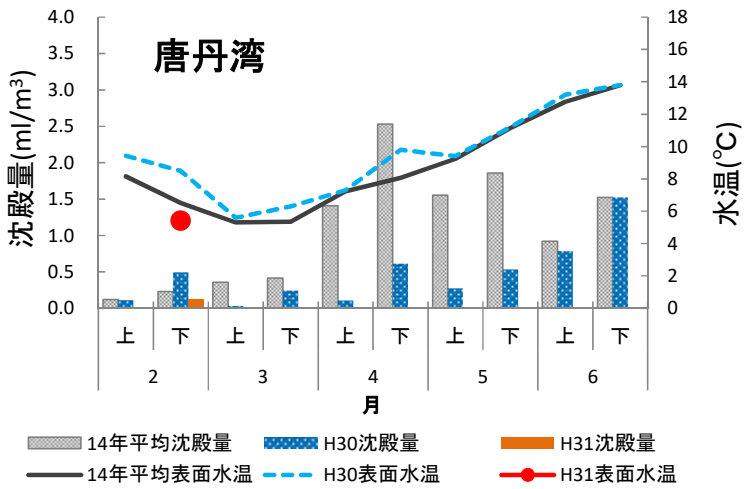
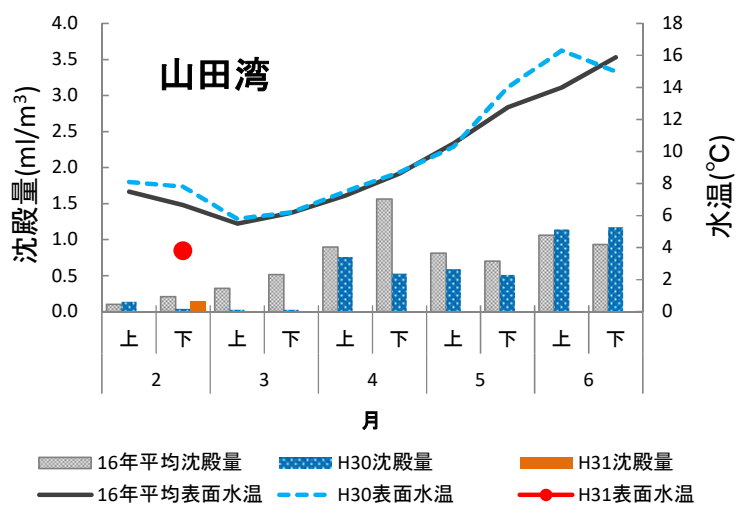
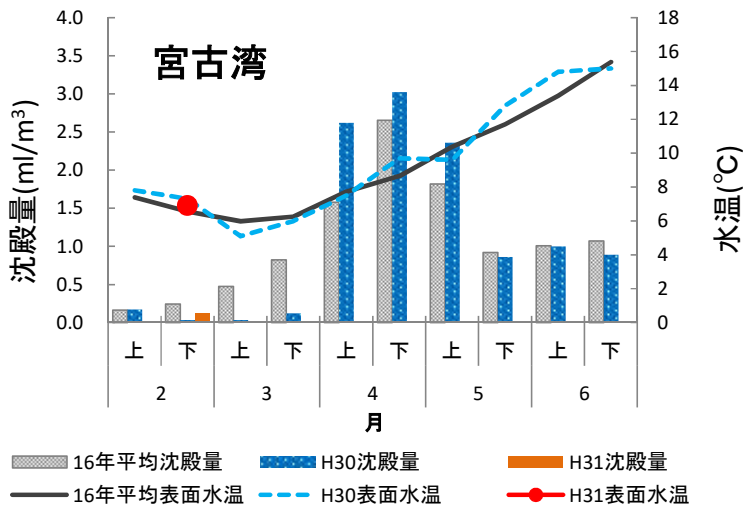


図1 5湾における動物プランクトン沈殿量，表面水温の季節変化

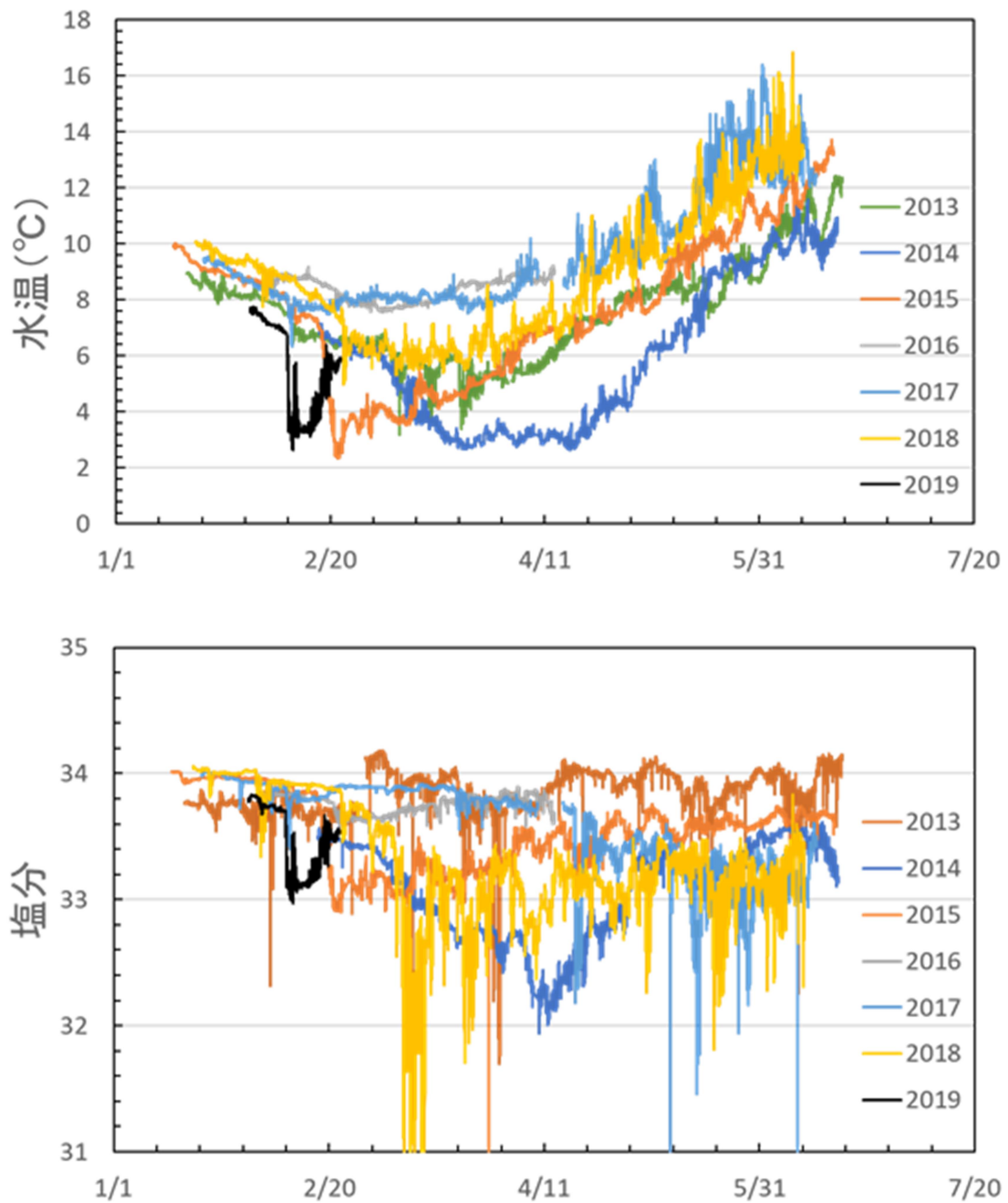


図2 山田湾（氷場漁場、10m深）における水温・塩分の日変化（平成31年2月22日現在）

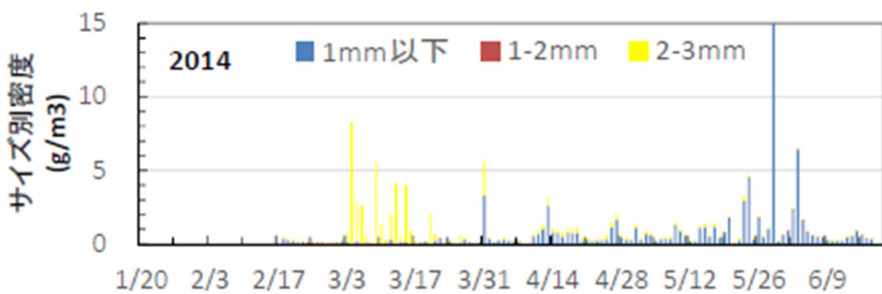
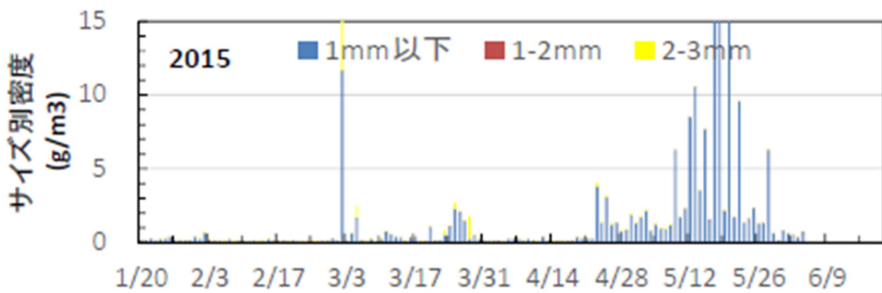
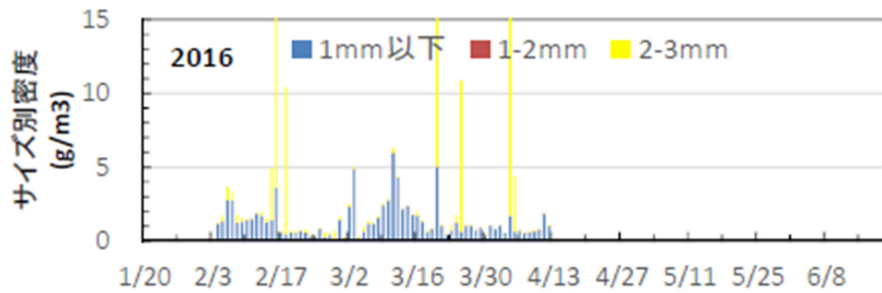
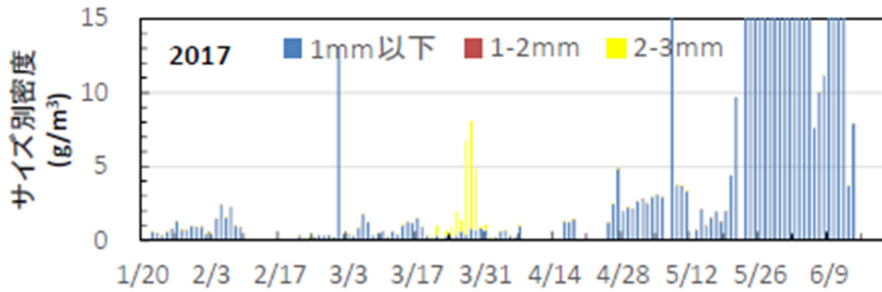
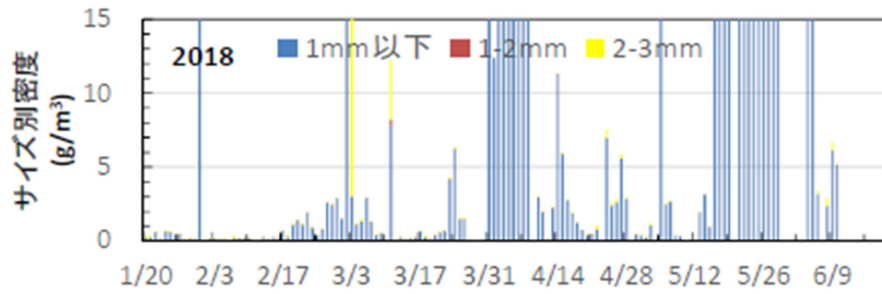
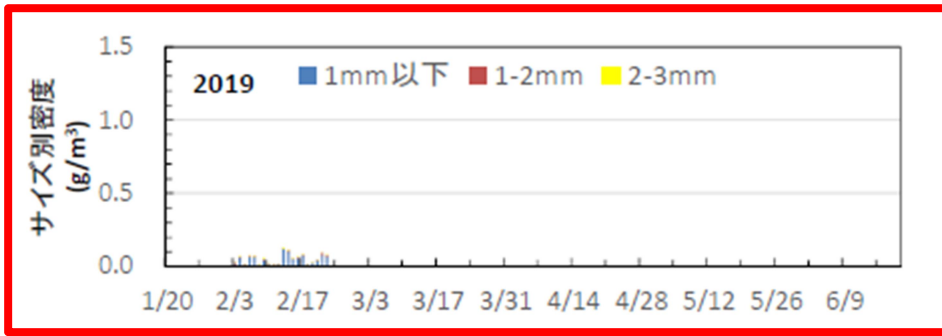


図3 山田湾（氷場漁場、10m深）におけるプランクトン密度の日変化（平成31年2月22日現在）